

# ようこそ橿原市立晩成小学校へ

橿原市立晩成小学校

校長 田中 厚志

晩成小学校は、明治7(1874)年に創立され、今年度で「144年目」を迎えます。

創立当初は「培擁館」として発足し、明治9(1876)年には、「八木小学校」と校名を変更しました。その後、明治18(1885)年に「小房小学校」と合併し、現在の地に校舎が新築されました。

「晩成小学校」という校名は、「大器晩成」という郷土の人々の教育への願いを受け止める形で命名されたと言われています。本校の先輩たちは、明治・大正・昭和・平成と、時代は変われども、その素晴らしい校風を長きにわたってしっかりと受け継ぎ、輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられました。

晩成小学校区は、古くからの中街道(下ツ道)と伊勢街道(横大路)とが交差する「札の辻」を中心として発達してきた街道町・宿場町で、現在は JR桜井線、近鉄大阪線・橿原線の鉄道をはじめ、国道24号線や同165号線が走る、奈良盆地南部の交通の要ともなっています。近鉄八木駅・八木西口駅周辺には、市役所・県立橿原文化会館・マンション・商業ビル・飲食店などが立ち並び、毎日人々で賑わっています。また、校区の南部には、市立図書館・こども科学館などがある万葉ホール・市公民館・中央体育館などの公共施設があり、市内外より多くの利用者が足を運んでいます。

本校の教育目標は、「知・徳・体 調和のとれた『いきいきとした子ども』の育成」です。「つよく・やさしく・かしこく」をめざす児童像に掲げ、「学び合い育ち合う学校」「学びの環境が整った学校」「夢と感動のある学校」づくりに取り組んでまいりたいと思います。また、本年度は『人と人との関わりを広め、主体的に取り組む子の育成』を主題として、実践研究をすすめていきたいと考えています。

最後になりましたが、今後もこれまで同様に、保護者の皆様・地域の方々のご意見・ご支援をいただきながら、家庭・地域・学校がしっかりと連携して、子どもたちを安全に健やかに、また心豊かに育ててまいりたいと思います。

子どもたちが笑顔で生き生きとすごせる学校・校区づくりのために、晩成小学校教育に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。